

全日本学生ヨット選手権大会参加資格

2018/4/1現在

各水域で予選を行い、その水域の学生ヨット連盟の推薦を得た大学が全日本大会に参加ができる。

基本枠17、特別枠6、開催地枠1の合計24枠が全日本出場枠です。

全日本大会の各水域出場推薦枠は次の通りとする。

470級	北海道	東北	関東	中部	近畿北陸	関西	中国	四国	九州	合計
基本枠	1	1	6	1	2	2	1	1	2	17
特別枠										6
開催地枠										1
合計	1	1	6	1	2	2	1	1	2	17+6+1=24

スナイプ級	北海道	東北	関東	中部	近畿北陸	関西	中国	四国	九州	合計
基本枠	1	1	6	1	2	2	1	1	2	17
特別枠										6
開催地枠										1
合計	1	1	6	1	2	2	1	1	2	17+6+1=24

基本枠 各水域登録校を「7」で割り、端数を四捨五入したものを基本枠とする、現行の基本枠は17枠である。

特別枠 前年の全日本大会において、上位の成績を得た水域に参加枠を追加する。但し各水域の上限は2枠までとしその合計は6枠とする。

開催地枠 全日本大会開催地の水域に1枠追加する。

以上

全日本学生 個人戦 参加資格

2018/4/1現在

各水域で予選を行い、その水域の学生ヨット連盟の推薦を得た艇が全日本大会に参加ができる。

全日本個人戦大会の各水域出場艇数は次の通りとする。

470級	北海道	東北	関東	中部	近畿北陸	関西	中国	四国	九州	合計
基本枠	3	3	18	4	6	6	4	3	6	53
開催地枠										2
合計	3	3	18	4	6	6	4	3	6	55

スナイプ級	北海道	東北	関東	中部	近畿北陸	関西	中国	四国	九州	合計
基本枠	3	3	18	4	6	6	4	3	6	53
開催地枠										2
合計	3	3	18	4	6	6	4	3	6	55

基本枠 基本艇数は53艇とする。

開催地枠 全日本個人戦大会開催地の水域に2艇追加する。(開催水域からも参加2艇は当該水域の裁量による)

※基本枠17×3とする(但し、中部・中国水域は各1艇つづ加算し、合計53艇とする)

以上

全日本 シングルハンドレガッタ参加資格

2018/4/1現在

各水域の推薦を得た艇が全日本大会に参加ができる。

艇種は レーザーラジアル級とする。

その他は開催水域からの公示・帆走指示書による。

以上

全日本学生女子選手権大会参加資格

2018/4/1現在

- (1) 加盟大学に学籍があり、入学してから4年以内の女子で、エントリー表に登録済であること。
- (2) 複数の艇へのエントリーは認めない。
- (3) 選手及び、監督・コーチは大会開催年度の(公財)日本セーリング連盟会員であること。
- (4) スナイプ級の選手は、大会開催年度のSCIRA登録済であること。
- (5) 各水域学生ヨット連盟の推薦を得た加盟大学のチームであること。

各水域の推薦枠は両クラスとも、各水域の予選エントリー数のパーセンテージにより与える。
詳細については以下のとおりとする。

予選エントリー数	推薦枠数
7艇以下	全艇
8艇以上14艇以下	予選エントリー数の80%、小数点1位を繰り上げた艇数
15艇、16艇	12艇
17艇以上	予選エントリー数の70%、小数点1位を繰り上げた艇数

※但し、参加艇数が各クラス35艇に満たない場合は、各水域の代表者の推薦により大会会長の了承を得たうえで、エントリーを認める場合がある。

以上